

広大な敷地面積を誇る国際見本市会場全域での通信を実現

一般財団法人 大阪国際経済振興センター 国際見本市会場 インテックス大阪 様 / 施設管理 鹿島建物総合管理(株) 様

日本最大級の国際見本市会場 インテックス大阪

広大なエリアの施設管理と防災対応に向けて導入

本体をベルトに装着しスピーカーマイクで送受信

日本最大級の国際見本市会場「インテックス大阪」は、約13万㎡の広大な敷地を有し、年間を通じて多くの展示会やイベントが開催されている。来場者数はイベントによっては4万人を超えるため、ドーム状の屋根空間の広場を中心とした6つの展示場全体の施設管理と安全対策が求められる。また津波避難場所にも指定されていることもあり、通常時の施設の巡回や設備管理に加え緊急時の対応を迅速に行うために、全エリアでのクリアな通信は重要な検討事項となっていた。

JVCケンウッドにとって大型イベント会場としては国内初のNEXEDGE[®] CRデジタル簡易無線中継システムの構築をご提案し採用いただいた。導入システムとしては携帯型のデジタル簡易無線機「TCP-D261E」20台とデジタル簡易無線中継器「TCB-D239CR」1台を納品。最適な通信環境を構築するために現地調査などを実施し中継器の設置場所などを検討した。

* NEXEDGE[®] CR（ネクスエッジ・シーアール）とは総務省により2023年に制度化された

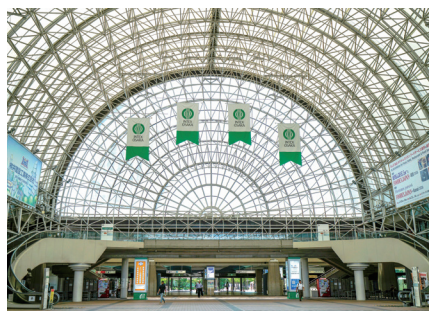
デジタル簡易無線免許局の中継チャンネル（3D）を利用した JVC ケンウッドのデジタル簡易無線中継システムの総称です。

導入の背景

これまで施設内の連絡手段として携帯電話や内線電話を使用していたが、広い敷地内で複数のスタッフと迅速に情報共有するには限界があった。また、災害発生時には携帯電話回線やWi-Fi環境が利用しにくくなる可能性も想定されるため、より確実な通信手段として無線中継システムの導入を決定。施設中央の大型ビジョン付近に中継設備を設置することで、展示ホールやコンコース、駐車場を含む施設全域で安定した通信環境を実現した。

活用シーン

無線機を利用する施設管理スタッフ全員が、使いやすい充電器ラックと
分かりやすい無線機管理表で日々の運用状態がひと目でわかる活用方法



中央のエントランスとコンコースの
広い空間から周囲を囲む各ホールまで
どこエリアからでも音声の送受信が
可能で施設内見回りを安心して実施できる



広大な敷地面積の中心付近にある
大型ビジョン上部に中継器アンテナを、
ビジョン背面部分に中継器と
非常電源ユニットなどを設置したことで
メンテナンスも容易となっている



1日に15台程度が運用されている
充電器は管理事務所内の専用収納ラックに配置
その横の壁面には現在の無線機の使用者が
ひと目で分かるように管理表を貼って
運用している

導入の効果と今後の計画など



- ・駐車場や地下など施設全域で問題なくコミュニケーションが可能となった
- ・デジタル無線機特有の送信時PTTの僅かな”間”は慣れれば問題なかった
- ・事務所の管理表でスタッフの利用状況がひと目でわかるので運用が容易
- ・ケンウッドならではのクリアな高音質と使いやすいスピーカーマイクが良い
- ・今後、中継器の普及に伴い、チャンネル不足による混信を懸念しているがケンウッドからの更なるシステム提案を期待している



USER'S PROFILE

インテックス大阪 様

大阪南港にある日本最大級の国際展示場「インテックス大阪」。展示会、見本市、販売催事、国際会議、試験、セミナー、パーティ、コンサートなどさまざまなイベントを開催している。

本件のお問い合わせは

株式会社 JVCケンウッド

無線システム事業部 国内無線システム営業部

〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町 3-12

MAA-CR2607CS 2026年7月作成